

重点施策		健康な心と体を養うスポーツ活動の推進			評価実施者		所 属	社会教育課
					職・氏名		課長	景由隆寛

重点施策の概要	目 的	生涯にわたり健康であるため、子どものころから心と体を養うスポーツに親しむとともに、スポーツ大会を通じて人々が集まり交流できる環境づくりを推進します。					
	今年度の主要事業	①新コースでの「たきかわコスモスマラソン」の開催による市民参加者数の拡大及び市民の体力向上を図る ②北海道日本ハムファイターズと東京ヤクルトスワローズのイースタンリーグ戦を招致し、身近にプロの試合を観戦することで青少年の夢や希望を育む機会とする。					

事業の目標と実績	区 分		単位	H23	H24	H25	特記事項	
	1	コスモスマラソン市民参加者数	目標 実績	人	160 231	462 260	462 269	参加者 H22～1,362人、H24～1,721人、H25 1,862人
	2	スポーツ施設利用人数	目標 実績	人	248,700 236,520	283,284 212,322	283,284 207,464	H24は温水プールを民間移管(▲28,527人)
	3	全国・全道大会開催数	目標 実績	回	12 25	12 24	12 23	
	4		目標 実績					
	5		目標 実績					

事業の分析効果の検証	①コスモスマラソンは、滝の川運動公園をスタートし国道12号を縦断し、石狩川河川敷を走る新コースでの実施となった。荒天にも関わらず過去最高の参加人数(参加者数:1,862人、申込者数:2,082人)となり、また、ランナーのアンケートからは「コースが走りやすかった」「ボランティアの対応がよかった」など満足度も高かった。 ②イースタンリーグ戦は3,582人が観戦、日ハム選手による少年野球教室は小学生21人が参加。北海道を拠点とする日ハム選手たちの活躍を間近に見ることができ、市民のスポーツへの関心が高まった。
課題	①「たきかわコスモスマラソン」は、コースの一部で選手が混雑するところがあり、事故防止のためいくつかの箇所での見直しが必要。また、ボランティアからも運営上の課題が寄せられており、選手、ボランティアともに「参加してよかった」という市民マラソンにしていくため、解決をしていきたい。 ②プロスポーツの招致については、機会があれば今後も積極的に進めていきたい。

評価	B 評価の視点1 期待どおりの効果があったか ①コスモスマラソンは、悪天候にもかかわらずランナーのアンケート結果からはおおむね評価をいただいていたが、スタッフのアンケート結果からは課題の多い大会となった。 ②イースタンリーグの招致は少年たちの野球教室もあり、プロスポーツを身近に感じられ評価できる。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか コスモスマラソンについては、アンケートの結果を分析し、コースやスタッフの現場対応について見直しの必要がある。
----	--

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する

B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある

C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。

D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	コスモスマラソンは、ランナーの安全を確保するとともに、市民がコスモスマラソンの実施に理解を示してもらえるよう課題を解決するとともに、市民がランナーとして、またボランティアとして数多く参加できる仕組みをつくる。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピートアップ ☒ 検証 ☒ 継続
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	コスモスマラソンは、市民のボランティアの方など、多くの人に支えてくれて、みんなで盛り上げた大会だったことから、評価を上げた方が良い。 ※評価をB→Aにした。
---------------	---